

岐阜県加茂地区神社・社叢における ムササビの生息状況と植生

梶浦 敬一*・安藤 志郎

The Habitat Situations of *Petaurista leucogenys* and Vegetation of some Shrines in the Kamo Area, in Gifu Pref.

Keiichi KAJIURA, Shiro ANDO

1. はじめに

筆者らは、1986年より加茂郡川辺町上石神明神社及び同町県神社でムササビの観察を実施してきた。

県立加茂高等学校生物部員の協力を得て、地域の生息情報も入手できるようになり、ムササビの生息頭数は、神社社叢を中心に相当数に上がることが予想された。県内ムササビに関する記述は、岐阜県の動物(1974)や岐阜県における哺乳動物の生息状況と、その環境調査及び環境教育にかかわる研究(川崎他, 1984)に記載されているが、聞き取りが中心で、分布・生態関係の研究は進展していない。今回、加茂地区(坂祝町・八百津町を除く)神社社叢のムササビ調査を実施したのでここに報告する。

本調査に当たり、ムササビ情報を提供していただいた県立加茂高等学校生物部に感謝の意を表す。

2. 調査地の概要

調査地域を図1に示す。飛騨川・木曾川合流点から飛騨川に沿った地域で、飛騨川沿いに高山線、国道41号線が通っている。冬季の積雪は県内でも少ない地域に属し、積雪日数も10日前後である。年平均気温は14℃~16℃前後で温暖な気候を示している。

本地域の植生は、飛騨川沿いに白川町までツブラジイ・タブノキ・ヤブニッケイが出現する。シーヤブツバキクラス域に相当すると考えられるが、現植生は、コナラーアカマツ群落か、スギ・

表1 調査地域の植生

地 域	主 な 植 生
美濃加茂市	○コナラ林 アカマツ林 樹園
川 辺 町	○コナラ林 アカマツ林…尾根に多い スギ・ヒノキ植林
七 宗 町	○コナラ林 アカマツ林 スギ・ヒノキ植林
白 川 町	○コナラ林 アカマツ林 ミズナラ林…赤河~黒川上流 スギ・ヒノキ植林 茶園
東 白 川 町	○スギ・ヒノキ植林 ミズナラ林 モミーンキミ群落 コナラ林

○印 優占植生

1. 美濃加茂市
2. 加茂郡川辺町
3. " 七宗町
4. " 白川町
5. " 東白川村



図1 ムササビ調査地域

* 県立加茂高等学校教諭

ヒノキ植林地となっている。東白川村の標高の高い地域で、クリーミズナラ群落が出現する。調査地域の植生は表1に示す。

神社社叢は、明らかに植林と考えられるタラヨウ・クロガネモチ・スギ・クスノキと、自然植生と考えられるツブラジイ・タブノキ・ムクノキ・ウラジロガシなどから構成されている。

大部分の社叢で、スギの大木が見られ、タブノキ・ムクノキ・ケヤキなども大木となっている。

3. 調査方法

1987年10月から翌1988年1月にかけて、市町村図より神社82ヶ所を選び出し、生息状況・社叢植生について調査した。出来る限り個体の目撃に努めたが、不可能な場合は、糞の採集より判断した。同時に、社叢地面に散乱した食痕を伴う樹種の採集に努め、ムササビの食性を調べた。巣穴については、穴を伴う樹種を調べ、巣穴の測定を行った。また、社叢背後の森林植生の調査も一部で実施した。

4. 結果及び考察

調査の結果、神社社叢82ヶ所のうち43カ所でムササビの生息が確認された。その結果を、図3及び表5に示す。表5—No.19・No.38は、糞が古く、生息に疑問が残った。調査中、スギ皮で作られた巣材を入手することができた。

巣穴に利用される樹種を表2に示した。スギ、タブノキがよく利用されている。ともによく成育し、大木となっている。巣穴の大きさは、調査可能な14カ所の平均値が、長径×短径で22.6cm×21.0cmであった。最小は、15.0cm×15.0cm、最大は、50.0cm×30.0cmである。巣穴の高さは、平均値で11.0mあった。低い所で4m、高い所で20mを記録した。

図2に、加茂郡川辺町下麻生・県神社社叢の樹種配置図を示す。この神社では、4頭のムササビが確認され、巣穴が最も多い社叢である。表3は、県神社の巣穴の大きさ、及び高さである。

ムササビの食痕の認められる樹種を表4に示す。表4の樹種は、すべて社叢内に生育している。ムササビが食用としている樹種は、常緑樹が多い。これは、冬期の調査であるためと考えられる。他に多くの樹種を食すると思われるが、食べた場所で枝葉を落とすため、社叢生育樹種以外見い出せなかった。周辺の植生から、コナラ・ツブラジイなども食べていると推定できる。

表2 巣穴に利用される樹種

樹種	本数
スギ	5
タブノキ	4
オオモミジ	2
ケヤキ	2
ムクノキ	1
イチョウ	1
クロガネモチ	1
ウラジロガシ	1
シダレザクラ	1

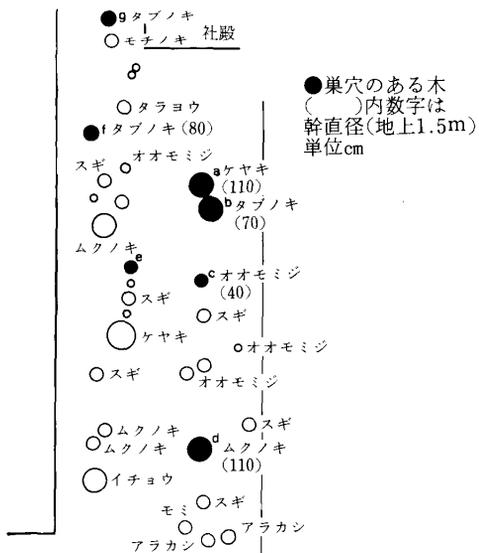


図2 川辺町下麻生 県神社社叢

表3 川辺町県神社の巣穴の大きさ及び高さ

記号	樹種	巣穴(長径×短径)cm	高さ(地上高)m
a	ケヤキ	15×15	10
b	タブノキ	20×20	16
c	オオモミジ	15×15	4
		15×15	5
d	ムクノキ	50×30	10
		20×20	17
e	オオモミジ	20×15	8
f	タブノキ	20×20	8
g	タブノキ	30×30	8

表4 食痕確認樹種

樹種	食痕標本採集社数
スギ	5
タブノキ	3
アラカシ	2
クスノキ	2
モミジ	1
シラカン	1
サカキ	1
ケヤキ	1
サクラ(花・新芽) 1987年4月調査	1

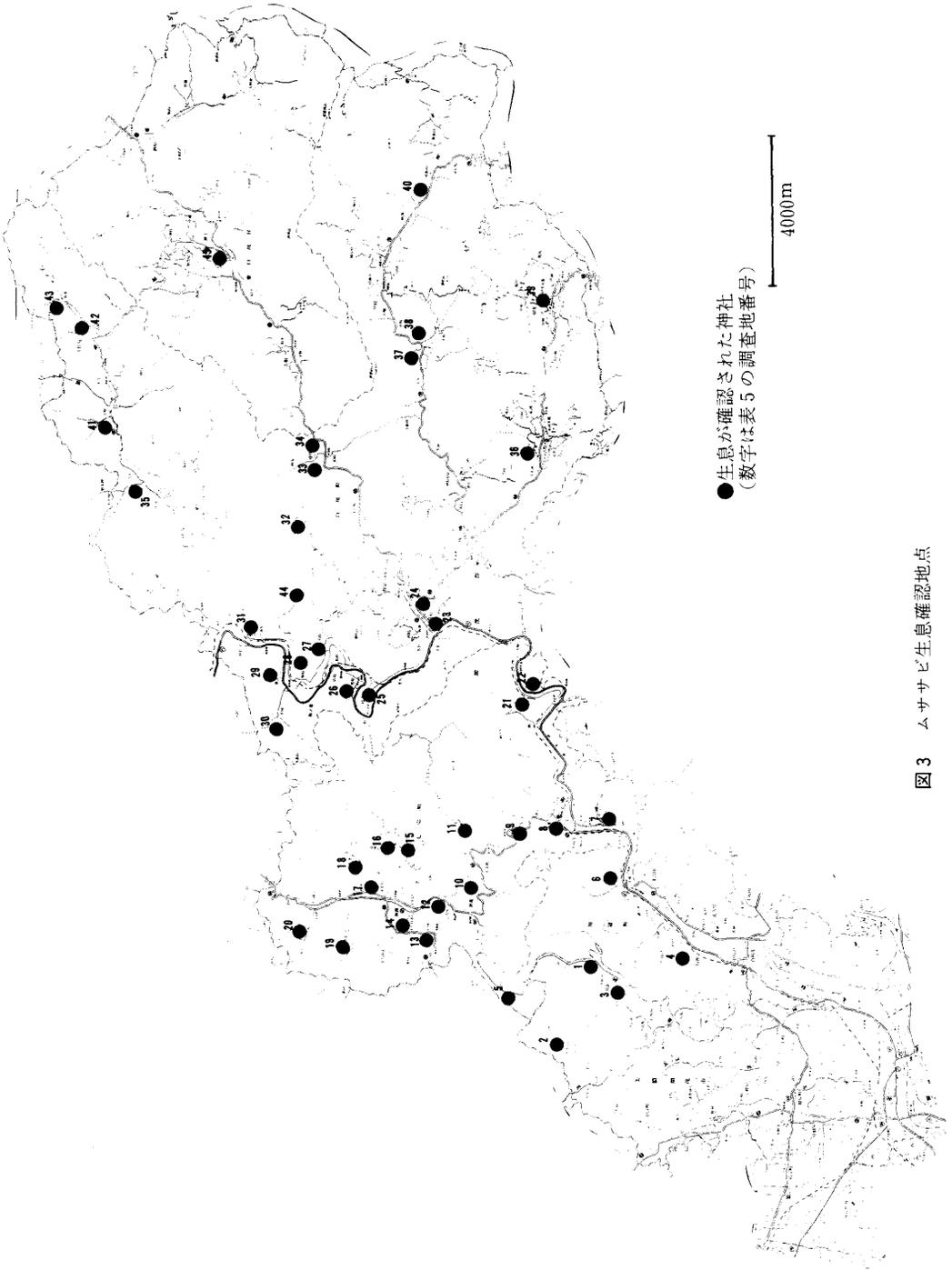


図3 ムササビ生息確認地点

表5 生息状況及び神社社叢 主要構成樹種

調査地	社叢構成樹種	生息確認状況	巣穴(利用樹種)	食痕
1. 美濃加茂市納古口 若宮八幡神社	ヒノキ・スギ・モミ・イチイ	糞		
2. 美濃加茂市甘屋 白山神社	スギ・ヒノキ	糞 スギの皮をむく		
3. 美濃加茂市川浦 白山神社	スギ・サクラ	糞		
4. 川辺町上石神 神明神社	スギ・ヒノキ・サクラ・アラカシ モミジ・サカキ・クロガネモチ	4頭 糞	クロガネモチ (φ60cm)	サクラの新芽 サクラの花
5. 七宗町神淵間見 津島神社	スギ・ムクロジ・マツ・サクラ	糞		
6. 川辺町下麻生 県神社	オオモミジ・ケヤキ・イチヨウ・ タブノキ・ムクノキ・スギ	4頭 糞 スギの皮をむく	ケヤキ・モミジ ムクノキ・タブノキ	モミジ・ケヤキ アラカシ・スギ タブノキ
7. 七宗町野々古屋 白山神社	スギ・タブノキ・サカキ・リンボク ツクバネガシ・ツバキ・サクラ	糞	タブノキ	タブノキ
8. 七宗町本郷 諏訪神社	スギ・クスノキ・サカキ イチヨウ・カキ・クリ	1頭 鳴き声	スギ	クスノキ
9. 七宗町追洞 八幡神社	スギ・アラカシ・オオモミジ モクセイ・イタヤカエデ・サクラ・ モミ	糞		
10. 七宗町大穴 春日神社	スギ(直径110cm)・アラカシ スギが多い。	糞		
11. 七宗町神淵室兼 白鬚神社	スギ・サクラ・アラカシ・ヒノキ	糞 スギの皮をむく	社殿に15穴	
12. 七宗町神淵寺洞 諏訪神社	スギ・ヒノキ スギが多い	糞		
13. 七宗町神淵下八日市 神社名不明	スギ・ヒノキ・シラカシ・モミジ	糞	シラカシ	スギ
14. 七宗町神淵下八日市 白山神社	スギ・マキ・ヒノラギ・ヒノキ	糞	社殿に1穴	
15. 七宗町上麻生葛屋 葛屋神社	スギ・サクラ・ヒノキ	糞	スギ 社殿に2穴	
16. 七宗町神淵杉洞 神淵神社	スギ・ヒノキ・イイギリ・ユズリハ ツクバネガシ・オオモミジ・モミ	1頭 糞	イイギリ 社殿に穴	
17. 七宗町神淵上中切 稻荷神社	スギ・ヒノキ・アラカシ・イチイ ケヤキ	糞 スギの皮をむく		
18. 七宗町神淵葉津 春日神社	スギ・ヒノキ・モミジ	糞 スギの皮をむく		
19. 七宗町神淵上八日市 愛宕神社	スギ・ヒノキ・サクラ	糞? (古い)		
20. 七宗町神淵杉洞 松尾神社	スギ・サクラ	2頭 糞		
21. 七宗町勝 天神神社	スギ・ヒノキ・カヤ・マツ ツクバネガシ・サクラ	糞 スギの皮をむく		
22. 七宗町分郷 神明神社	スギ・タブノキ・シラカシ ヒノキ・サクラ	糞 スギの皮をむく		シラカシ タブノキ

調 査 地	社 叢 構 成 樹 種	生息確認状況	巣穴(利用樹種)	食 痕
23. 白川町河岐 河股神社	スギ・ヒメコマツ・ヒノキ・マツ	糞 スギの皮をむく		
24. 白川町河岐 大宮神社	スギ・ヒノキ・イチョウ・アラカシ ツクバネガシ・マツ・モミジ	糞 スギの皮をむく		アラカシ・スギ サカキ
25. 白川町島 中山神社	スギ・クスノキ・イチョウ・モミジ ヒイラギ	糞		クスノキ
26. 白川町大利 白山神社	スギ(直径171cm・213cm) サクラ	糞 スギの皮をむく	スギ	
27. 白川町河東 白山神社	スギ・ヒノキ・サザンカ	糞		
28. 白川町野原 八幡神社	スギ・ツクバネガシ・アラカシ ヒノキ	糞 スギの皮をむく		
29. 白川町新津 泉神社	スギ・ムクロジ・エノキ タラヨウ・イタヤカエデ・サカキ	糞 スギの皮をむく		
30. 白川町小川 白山神社	スギ(直径150cm)・ヒノキ	糞 スギの皮をむく	スギ	スギ 供物のコメ?
31. 白川町下油井 杉本神社	スギ・アベマキ(直径52cm) アラカシ・ツクバネガシ・ヒノキ	糞 スギの皮をむく		
32. 白川町白山 白山神社	スギ(直径約200cm) イチョウ	糞 スギの皮をむく	スギ	
33. 白川町中川 白州神社	スギ・ツクバネガシ・アラカシ ヒノキ・イチョウ	糞 スギの皮をむく		
34. 白川町中川 中屋神社	スギ(直径140cm)・カヤ サクラ	糞		
35. 白川町久田島 高天良神社	スギ・シラカシ・ツクバネガシ アラカシ・ヒノキ	糞 スギの皮をむく	シラカシ	
36. 白川町赤河 赤河神社	スギ・ムクノキ・イチョウ ウメ	糞		
37. 白川町下之平 白幡神社	スギ・ツクバネガシ・ニレ	糞		スギ
38. 白川町小坂 神社名不明	スギ・カシワ	糞?		
39. 白川町切井 佐長田神社	スギ・ヒノキ・イチョウ・ムクロジ ヤブニッケイ・ウラジロガシ・ケヤ キ	糞	ウラジロガシ	
40. 白川町中新田 神明神社	スギ・エノキ・ヒサカキ・アラカシ ツクバネガシ・ウラジロガシ	糞 スギの皮をむく		
41. 白川町小野 津島神社	スギ・ケヤキ・イチイ シダレザクラ	糞 スギの皮をむく	シダレザクラ	
42. 白川町吉田 北野神社	スギ・ケヤキ・ヒイラギ イヌガヤ・クロベ・ヒノキ・サクラ	糞 スギの皮をむく		
43. 白川町有本 有本神社	スギ・ヒノキ・サカキ	糞		
44. 白川町宇津尾 大森神社	スギ・サクラ・ヒノキ・マツ	糞		
45. 東白川村 神田神社	スギ・ヒノキ・オオモミジ ツクバネガシ	糞 スギの皮をむく		

5. まとめ

加茂地区のムササビ調査を実施し、次点が明らかになった。

1) 調査した神社社叢82ヶ所のうち43ヶ所でムササビの生息が確認された。

2) 本地域での冬季ムササビの食性は、タブノキ・クスノキ・スギ・アラカンなど常緑樹が多い。

参考文献

安間繁樹 1985 日本の野生動物 晶文社

岐阜県哺乳動物研究会 1984 岐阜県における哺乳動物の生息状況とその環境調査及び環境教育にかかわる研究

大内幸雄 1977 飛騨川流域 岐阜県現存植生図 岐阜県環境部



写真1 川辺町下麻生・県神社のムササビ



写真2 七宗町神淵・神淵神社のムササビ(1987.11.22)

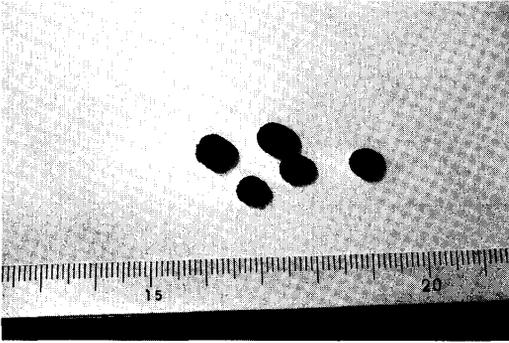


写真3 ムササビの糞 神淵神社(1987.11.22)

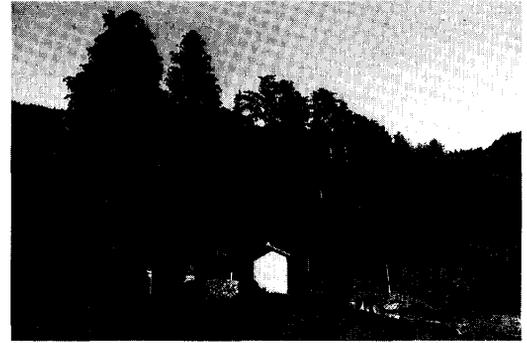


写真4 七宗町神淵・葛屋神社社叢(1987.11.22)



写真5 クスノキ食痕 七宗町本郷諏訪神社
(1987.12.7)

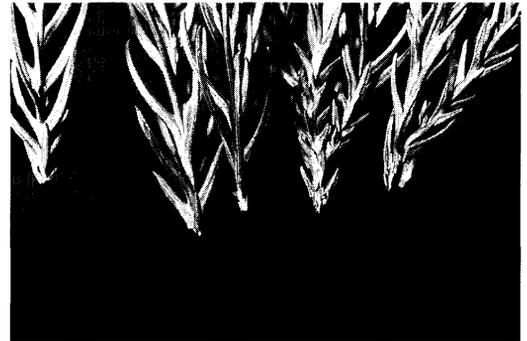


写真6 スギ食痕 川辺町下麻生県神社
(1987.12.7)